

平成 29 年度学生受入部門活動報告

部門長 今尾 茂樹

1. 会議等の記録

平成 29 年度の会議記録を表 1 に示す。

表 1 学生受入部門会議

開催日	主な審議議題
4 月 25 日	1. 平成 29 年度 学生受入部門構成員について 2. 平成 28 年度活動報告及び平成 29 年度の事業計画について 3. 教学 IR データ分析について 4. 《継続》岐阜大学案内 2018 の作成について 5. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について
5 月 30 日	1. 大学入学共通テストについて 2. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 3. オープンキャンパスアンケートについて 4. 《継続》岐阜大学案内 2018 の作成について
7 月 11 日	1. 岐阜県高等学校長代表者との懇談会について 2. 平成 29 年度 全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会報告 3. 平成 30 年度概算要求（入学者選抜改革分）について 4. 外部英語検定試験活用について 5. 各入試区分のアドミッションポリシーの表示について 6. 岐阜大学案内 2018 について
9 月 12 日	1. 岐阜大学案内 2019 の作成について 2. 面接方法に関する FD の計画について 3. 本年度の課題整理について
10 月 16 日	1. 面接方法に関する FD の計画について 2. 高校生の大学見学への対応について
11 月 27 日	1. 面接方法に関する FD の計画について 2. 高校生の大学見学への対応について 3. 岐阜大学 5 学部合同の学校説明会について 4. 平成 30 年 4 月新入生調査票について

12 月 25 日	1. 面接方法に関する FD の計画について 2. 高校生の大学見学への対応について 3. 岐阜大学出前説明会について 4. 大学入学者選抜改革への対応について 5. 国語記述式問題に関する試行調査への対応について
1 月 22 日	1. 岐阜大学出前説明会について 2. 面接方法に関する FD の計画について 3. 大学入学者選抜改革への対応について
3 月 22 日	1. 面接方法に関する FD について 2. 大学入学者選抜改革への対応について 3. 一般入試後期日程における国語の実施について 4. 大学院入試における欠員への対応について 5. 岐阜大学案内 2019 の作成について 6. 岐阜大学出前説明会について 7. 平成 30 年度に開催される学外進学説明会等への参加について 8. インターネット出願システムの導入について

2. 活動内容及び成果

部門業務は、次の 4 つのミッションに区分している。

(業務 1 : 調査分析) 入学者選抜方法の改善に係る調査・分析・検討

教学 IR データセット入試データの作成・分析

他大学調査・分析

入試制度の検証・改善案の作成

(業務 2 : 広報) 入試情報の提供及び広報活動

大学案内・募集要項作成公表

大学情報の受験雑誌等への出稿

オープンキャンパスの開催

学外機関主催の大学説明会への参画

高等学校の大学見学

高等学校への往訪

(業務 3 : 高大接続) 高大接続

高等学校関係者との懇談会

(業務 4 : その他)

『平成 28 年度業務報告』に基づき、『平成 29 年度活動計画』を次の「重点活動」として策定し、平成 29 年 4 月 25 日の第 1 回部門会議において承認され、年間を通じて活動を行った。

【調査分析】

○継続活動

- ① 全国大学入学選抜研究連絡協議会大会、国大協シンポジウムなどに出席し、大学外の入試関連情報を 5 学部で共有した。
- ② オープンキャンパスのアンケート項目に全学共通項目（用紙：表面）を設け、参加者の属性、動機の分析から来場者の動向を調べ、次年度の実施に向けての改善点を検討した。
- ③ 進学産業等から提供された入試に関するデータを基に、平成29年度入試の結果を分析した。
- ④ 平成29年度入学生に対して新入生アンケートを入学手続き書類に同封して実施した。（平成30年度入学生からは教学企画室により実施）

○本年度の重点活動

- (a) 教学 IR データセットの活用方法の検討・施行【認証評価（基準 4）への対応】
各学部から分析依頼のあった教学 IR 関連の命題を「教学 IR データ分析研究会」において分析を行った。分析結果は教学企画室会議および当部門会議で共有し、入試方法改善の検討資料となった。本年度新たに分析した命題も含めて教学データセット活用方法として蓄積した。なお、平成 27 年度に完成した教学 IR データセット（①新入生アンケート（入学前活動を含む）、②入試データ（推薦入試結果含む）、③学務科目成績データ、基盤的能力調査データ、卒業時データ、就職先データ）の更新を継続した。
- (b) 教学 IR データセット活用に関する各種規定整備（教学企画室と連携）
教学企画室内の組織として「教学 IR 作業部会」を設置して、教学 IR データの取り扱い、テンプレート、サーバーなどについて検討するとともに各学部からの調査分析依頼を整理した。ここでの検討結果を基に、機構・教学企画室と連携して、教学 IR データの取扱いに関する「教学データによる教育の質保証活動のガイドライン」を制定した。
- (c) 面接法に関する FD の実施
入学選抜改革・改善に向けて、集団面接法についての FD を 12 月と 3 月に企画・実施した。長時間の FD であったが、全学部からの出席があった。

【広報】

○継続活動

- ① 高校生の大学見学への対応，学外機関主催の大学説明会への参加，マスコミへの取材協力などの入試広報に関する業務について，学部と連携して積極的に取り組んだ。
- ② 『岐阜大学案内 2019』を編集した。

○本年度の重点活動

- (a) 大学ホームページ及び岐阜大学広報ビデオの活用（大学見学）
大学ホームページに掲載する大学見学申込の告知内容を確定し，申込書も含めて大学ホームページに掲載した。
- (b) 高校に対する新たな広報手法の検討
県内の高校へ出向いて行う岐阜大学単独の説明会を新たに立案し，『岐阜大学出前説明会』として作成したパンフレットを高校へ配布するとともに大学ホームページに掲載した。
- (c) 『岐阜大学案内 2018』を完成し，全国に配布した。

【高大接続】

○継続活動

- ① ステークホルダーと対話する関係づくりの一環として，「岐阜県高等学校長代表者と岐阜大学との懇談会」のプログラム改善を行い，実施に向けて積極的に協力した。

○本年度の重点活動

- (a) 高等学校関係者との対話の場の確保
【調査分析】と入試方法の検討を優先しており，対話の場の確保については次年度も検討を継続する。
- (b) 「高大接続改革（大学入学者選抜改革）」に関する情報収集と情報共有
「大学入学共通テスト」に関する情報を常に収集し，学生受入部門内で共有した。

【その他】

- (a) 上記活動を総合した第3期中期目標期間の活動計画
概算要求（高大接続改革）に基づき，教学 IR データセットの整備を進めた。また，インターネット出願システムの導入について検討した。

3. 課題及び次年度の取組方針

4つのミッションに関する課題及び次年度の取組方針は次の通りである。

【調査分析】

- ・ 教学 IR データセットの活用[認証評価（基準4）への対応]
→ 蓄積されたデータの本格的活用
- ・ 面接法等入試改革・改善に対応する FD の企画・実施

【広報】

- ・ 大学見学，出前説明会に関する大学ホームページ掲載効果の検証
- ・ 出前説明会の効果検証
- ・ 高校に対する新たな広報手法の検討

【高大接続】

- ・ 高等学校関係者との対話の場の確保（継続課題）
- ・ 「大学入学者選抜改革」に関する情報収集・共有
- ・ 平成 30 年度中に公表する入学者選抜基本方針の検討

【その他】

- ・ 第3期中期目標期間の活動の推進（概算要求に係る計画の実施含む。）

以上

平成 29 年度教養教育推進部門活動報告

部門長 野村 幸弘
副部門長 瀬瀬 守
副部門長 橋本 永貢子

1. 会議等の記録

全学共通教育に関係する業務は、授業編成専門委員会を中心に進めた。改革のための企画立案は、有志学生による「岐阜大学教育企画立案学生チーム」と月 1 回ミーティングを行い、学生の意見を積極的に取り入れながら、部門長、副部門長、機構専任教員によるワーキンググループで原案を作成し、教学企画室会議、ならびに授業編成専門委員会の意見も反映させた後、教学委員会に諮るというプロセスで業務を進めた。

表 1 授業編成専門委員会会議

開催日	主な審議議題
4 月 1 0 日	平成 2 9 年度非常勤講師採用計画の一部変更について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について 平成 2 9 年度前学期放送大学に在学する特別聴講学生の受入れについて
5 月 8 日	平成 2 9 年度前学期授業評価アンケートについて 平成 2 9 年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成 2 9 年度前学期特別聴講学生等の履修について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について 平成 2 9 年度後学期授業時間割について 教養科目に係る「協定大学のサマースクールにおける学修」の単位認定について
6 月 5 日	平成 2 9 年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費（前期分）の配分について 平成 2 9 年度後学期全学共通教育開講科目「Web 履修申請」日程について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定の申請期間について 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について

7月3日	平成29年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成29年度前学期定期試験の実施について 平成29年度非常勤講師採用計画の作成について 平成30年度全学共通教育における英語カリキュラムについて 学生用図書の推薦について
9月4日	平成29年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成30年度非常勤講師採用計画について
10月2日	平成30年度新規開講科目について 大学以外の教育施設等における学修の単位認定について
11月6日	平成30年度非常勤講師採用計画について 平成29年度教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費（後期分）の配分について 平成29年度後学期特別聴講学生等の履修について 協定大学等のサマースクール等における学修の単位認定について 日本語科目及び日本事情に関する科目の充当について 平成30年度新規開講科目について 平成30年度開講授業計画について 今後の授業開講科目及び定員について
12月4日	平成30年度非常勤講師採用計画について 平成30年度前学期履修申請日程について 平成30年度新規開講科目について インフルエンザ等感染に伴う全学共通教育授業の欠席学生の対応について 部会報告について
1月15日	平成30年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成29年度後学期定期試験の実施について 平成30年度前学期授業時間割について 岐阜大学教育推進・学生支援機構教養教育推進部門推進費の配分基準の改正について
2月5日	平成29年度非常勤講師採用計画の一部変更について 全学共通教育ガイダンス日程について
3月5日	岐阜大学全学共通教育科目に関する規程の一部改正について 教育推進・学生支援機構授業編成専門委員会廃止に伴う関連規程等の廃止、一部改正について 平成30年度非常勤講師採用計画の一部変更について 平成30年度前学期聴講生の受入れについて 次期部会長について

2. 活動内容及び成果

○平成29年5月25・26日に「ホテルグランテラス富山」で開催された第54回国立大学教養教育実施組織会議に参加した。基調講演に相当する全体発表を舩越高樹特任助教（教育推進・学生支援機構〔サポート・ルーム〕）が担い、第一分科会の議題には本学が提案した「同一名称で複数コマ開講する科目における公平な成績判定」が採択され、廣内大輔准教授（教育推進・学生支援機構）が座長を務めた（写真1）。



写真1

○「教養教育のアピール」のため、昨年度に引き続き「教養講演会」を3回開催した。講師と内容は、以下の通りである。第4回トマス・グラムリヒ「異文化理解と異文化対応能力」（写真2）、第5回野村誠「僕の教養は全て音楽を通して身に付けた!」、第6回森脇久隆「森脇学長、映画を語る!」。この企画は平成29年度活性化経費（教育）に採択され、それによって「岐阜大学教養講演会2016」を刊行した（写真3）。



写真2

○英語について技能別のカリキュラム（「英語1・2・3・4」をそれぞれSpeaking, Listening, Reading, Writingとする）を全学部で実施し、English Center設立の準備を行った（写真4）。

○有志学生による「eplus 岐阜大学教育企画立案学生チーム」と協力し、毎月1回、金曜の夕方にサテライトキャンパスで高年次学部混成形式のセミナー「パーティーゼミ」を試行的に8回開講した。このセミナーを平成30年度から正規の授業とし、活性化経費（教育）で「高年次教養セミナー開講に向けて」を刊行した（写真5）。

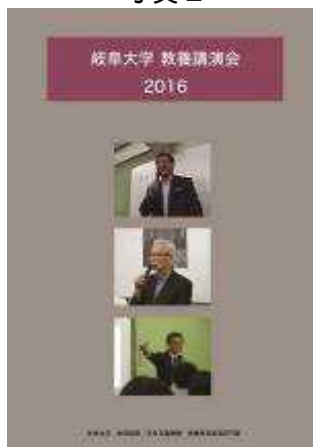


写真3

○学生による授業評価アンケートで学生の満足度の高い授業を参観した。その実施報告書は、平成30年度にまとめる予定である。

○図書館3階の「教養図書コーナー」をさらに充実させた（写真6）。

○ニュースレター「教養教育NEWS」27・28号を発行した（写真7）。

○平成29年度第1回FD研究会「授業がうまく行かない時どうすればいいかを考えるーわたしはこうして改善しました 実践報告その1」を学修支援部門との共催で開き（6月28日）、教育学部の中村琢准教授と工学部の永井学志准教授がそれぞれ全学共通教育で担当している「科学的なものの考え方」と「日曜大工からはじめる力学」の授業実践について報告し、活発な意見交換を行った（写真8）。



写真4

○平成29年度第2回FD研究会「全共英語、なぜ私はすべての学生にSをつけるのか？―実践報告その2」を学修支援部門との共催で開催した（10月11日）。地域科学部の牧秀樹准教授が「全共英語の授業実践と成績評価について」と「岐阜大学英語教育の将来ビジョン私案」について語り、英語教育に関する議論を深めた。（写真9）。

○平成30年度全学共通教育授業開講科目一覧を分野ごとに整理し、受講定員など全体像を一覧にしたものを参考に、今後、執行部と部会長で定員や開講科目のバランスについて検討していくことにした。

○開講科目の受講定員を確保し（50人以上）、推進費予算を節約するため、配分基準を改正した。

○授業編成専門委員会を廃止し、そこで報告・審議してきた内容は、平成30年度から教養教育推進部門会議で行い、教養教育に関することは、主に教学委員会で協議することにした。



写真7



写真8



写真9



写真5



写真6



3. 課題及び次年度の取組方針

- 「教養講演会」の開催、「教養教育 NEWS」の発行、FD研究会等による「教養教育のアピール」。
- 授業担当者、および授業科目数を確保すること。
- English Centerの発足と英語教育の充実。
- 「高年次教養セミナー」の実施。
- 「初年次教養セミナー」開講の検討。
- eplusとの協同。
- 第二外国語の授業目標の明確化。
- 推進費の有効な使い方。
- 全学共通教育に責任をもつ教員組織の検討。

平成 29 年度学修支援部門活動報告

部門長 海野 年弘
副部門長 廣内 大輔
副部門長 松原 正也

はじめに

学修支援部門は、その下部組織として、初年次教育担当とメディア教育担当の 2 つを持ち、さらに両者を横断する形で、広報チームとアカデミック・コア運営チームを置いている。よって本稿、まず学修支援部門全体の動向を記した後、これら 4 つのグループがそれぞれの担当業務について記載するものとする。

【学修支援部門全体の動向】

1 会議記録

学修支援部門会議

開催日	主な審議議題
平成 29 年 4 月 13 日	① 学修支援部門名簿 ② 学修支援部門の会議等について ③ 各担当報告 ④ アカデミック・コアの運用について ⑤ 平成 29 年度計画について

平成 29 年 5 月 9 日	① 各担当報告 ② AIMS-Gifu の移行に伴う成績提出の取扱いについて ③ オープンキャンパス学生企画でのアカデミック・コア利用について ④ 7 月 2 日（日）アカデミック・コアの休日使用について ⑤ アカデミック・コア学生スタッフの指導について ⑥ 初年次セミナーの授業評価アンケートについて
平成 29 年 6 月 12 日	① 各担当報告 ② 現行 AIMS-Gifu(Blackboard) から新 AIMS-Gifu(Canvas) へのコース移行に関して ③ アカデミック・コア運営に関するガイドライン（申し合わせ）案について ④ 学会でのアカデミック・コア使用の願い出について
平成 29 年 7 月 11 日	① 各担当報告 ② AIMS-Gifu の活用効果に関する分析レポート ～ 授業時間外学習に関するアンケート調査 ～ 報告ならびに Web ページへの掲載について ③ 新 AIMS-Gifu(Canvas) 利用講習会について ④ アカデミック・コア運営に関する申し合わせ案について ⑤ 学会でのアカデミック・コア使用の願い出について
平成 29 年 9 月 8 日	① 各担当報告 ② 平成 29 年度計画に対する 9 月末時点での進捗状況の報告について ③ 学修支援部門ニューズレター第 3 号について ④ シラバスのフォーマット変更について ⑤ アカデミック・コア学生スタッフの採用について ⑥ アカデミック・コア運営に関する申し合わせ案について ⑦ 「岐阜大学フェア 2017」でのアカデミック・コア使用について ⑧ アカデミック・コアにおけるパネル展示依頼について ⑨ 10/11（水）教養教育推進部門・学修支援部門共催 F D 研究会について
平成 29 年 10 月 11 日	① 各担当報告 ② 学修支援部門員の変更について ③ 初年次セミナーのあり方について ④ FD の開催について ⑤ アカデミック・コア入口でのパネル展示について
平成 29 年 11 月 8 日	① 各担当報告 ② FD の開催について ③ 岐阜大学フェア 2017 について

平成 29 年 12 月 13 日	① 各担当報告 ② 初年次セミナーの授業評価アンケートの集計結果について ③ FD の開催について ④ 平成 29 年度岐阜大学学生レポートコンテストについて ⑤ 休業期間中のアカデミック・コアの開館時間及び閉庁について
平成 30 年 1 月 10 日	① 各担当報告 ② 学修支援部門 SD・FD の開催について ③ 平成 28 年度及び平成 29 年度中期目標・中期計画の達成状況について ④ 平成 29 年度岐阜大学教育職員個人評価について
平成 30 年 2 月 14 日	① 各担当報告 ② シラバス作成のためのガイドラインについて ③ 全学共通教育新入生ガイダンスについて
平成 30 年 3 月 14 日	① 各担当報告 ② 今年度の活動報告及び来年度の検討事項について ③ 平成 29 年度計画の実施状況について ④ 学修支援部門ニューズレター第 4 号について ⑤ 機構運営委員会の報告について ⑥ 学修支援部門の体制について

学修支援部門 初年次教育担当・メディア教育担当合同会議

開催日	主な審議議題
平成 29 年 4 月 26 日	① 教育推進・学生支援機構 学修支援部門員の紹介 ② 教育推進・学生支援機構規程および部門細則の確認 ③ 学修支援部門における各担当およびチームの業務について ④ 第 3 期中期目標・中期計画・年度計画に基づいた各担当の活動計画 ⑤ 今年度の部門会議日程（案）について ⑥ 平成 28 年度アカデミック・コア運営チーム活動報告
平成 30 年 3 月 23 日	① 今年度の活動報告及び来年度の検討事項について ② 平成 29 年度計画の実施状況について

【初年次教育担当】

1 会議記録

初年次教育担当会議

開催日	主な審議議題
平成 29 年 4 月 26 日	① 今年度の活動について ② 業務の役割分担について
平成 29 年 5 月 24 日	① アクティブ・ラーニング志向科目の選定について ② 「学びをデザインする」について ③ 初年次セミナーの授業評価アンケートについて
平成 29 年 6 月 29 日	① アクティブ・ラーニング志向科目の選定について
平成 29 年 7 月 26 日	① アクティブ・ラーニング志向科目の選定について ② 平成 29 年度図書館ツアーのアンケート集計結果について
平成 29 年 9 月 29 日	① 初年次セミナーのあり方について ② FD の企画について ③ SA の能力開発について
平成 29 年 10 月 25 日	① 平成 29 年度学修支援部門 SD・FD 企画について
平成 29 年 11 月 22 日	① 初年次セミナーの授業評価アンケートの集計結果について ② 岐阜大学生のためのレポート・論文の書き方について ③ 学修支援部門 SD・FD について ④ 学生レポートコンテストについて
平成 29 年 12 月 26 日	① 『岐阜大学生のためのレポート・論文の書き方』について ② 学修支援部門 SD・FD について ③ 平成 29 年度岐阜大学学生レポートコンテストについて
平成 30 年 1 月 24 日	① 平成 30 年度初年次セミナーにおける図書館ツアーについて ② 平成 29 年度岐阜大学学生レポートコンテストについて ③ 全学共通教育新入生ガイダンスについて
平成 30 年 2 月 20 日	① 平成 30 年度図書館ツアーについて ② 平成 29 年度岐阜大学学生レポートコンテストについて ③ 平成 30 年度全学共通教育新入生ガイダンスについて ④ 次年度検討事項の申し送りについて
平成 30 年 3 月 23 日	① 平成 29 年度岐阜大学学生レポートコンテストについて ② 平成 30 年度図書館ツアーについて ③ 平成 30 年度全学共通教育新入生ガイダンスについて

2 活動内容及び成果

・全学共通教育新入生ガイダンスの説明

全学共通教育新入生ガイダンスにおいて、教養教育の重要性を中心に各学部の新入生に説明を行った。

・岐阜大学における学生のアクティブ・ラーニングの促進について

- 1) 平成 28 年度に定義した本学のアクティブ・ラーニングの周知を行った。
- 2) シラバスの様式に「学生のアクティブ・ラーニングを促す取組」の項目を追加し、全学での承認を経て、平成 30 年度のシラバス作成時より新たな様式を導入した。

・「ひろがる学び，つながる学び」の開講について

前学期に開講し，9 名の学生が履修登録した。

・「学びをデザインする」の開講について

- 1) 初年次セミナーの受講者に科目紹介を行い，受講希望者および関心を示す学生に対して，事前説明会を複数回（4～5 回）実施した。
- 2) 受講希望者には，冊子版「さんかんがく」からアドバイザー教員を探すように促した。合わせて，学修支援部門長より各学部の教員にアドバイザー教員の周知と依頼を行った。
- 3) アドバイザー教員が決まった後に，当該教員への授業内容の説明を行った。
- 4) 後学期に開講し，5 名の学生が履修登録した。

・岐阜大学学生レポートコンテストの実施について

「岐阜大学学生レポートコンテスト」について，分量や使用できる言語は日本語に限ることを，かつ作品は単著のみ受け付けることを明確にして募集を行った。応募された 7 作品を初年次教育担当の全委員と学修支援部門長で審査し，入賞作品を選定した。

・アカデミック・コアにおける SA 及び TA に求められる能力の開発について検討した。

- 1) アカデミック・コアでの SD・FD で学生スタッフが発表を行い，業務を通じて身に付いたことや，他大学の視察から業務に取り入れた成果を発信した。
- 2) アカデミック・コアで勤務する学生スタッフに対して，契約期間を更新して勤務する際に面接による中間評価を行った。

・初年次セミナーのあり方について

- 1) 平成 28 年度より導入した図書館ツアーにおける本借り出し体験ゲームについて，問題点を検証し改善を協議した。
- 2) 平成 30 年度の図書館ツアー実施に向けて方法の見直しを行い，時間内に借り出す本の冊数を競う形から，受講生が検索して本を借りて持ち帰る形に変更することを決定した。
- 3) 初年次セミナーの授業評価アンケートを実施し，前年度との比較分析を行った。
- 4) 初年次セミナーにおける成績評価について，各学部・学科の状況を確認した。

- ・『岐阜大学生のためのレポートの書き方』（旧『岐阜大学生のための日本語表現練習ノート』）について、昨年度と同じく初年次教育担当で記載内容を精査した。

3 課題及び次年度の取組方針

全学共通教育新入生ガイダンスで、教養教育に関する説明を行う。

本学のアクティブ・ラーニングとシラバスの新様式の記入を各学部浸透させていく。シラバスに記入されたアクティブ・ラーニングを促す取組を見て、良い取組があれば広く紹介していく。

アカデミック・コアの年間利用者は約 8 万人で、当初目標の 4 万人は大きく超えているが、今後は質の向上を念頭に置いた取組を行っていく。また、アカデミック・コアで勤務する SA・TA に対してのサポート・教育にも注力する。

「ひろがる学び、つながる学び」を開講し、授業を通して大学生としての学び方を教授し、本学の SA や TA として活躍できる能力の開発を目指す。

「学びをデザインする」を前年度と内容を大きく変えず開講し、学生がもっとも関心のあることを自主的に学ぶことを支援する。

「岐阜大学学生レポートコンテスト」を実施し、今後もより多くの作品が応募されるように広く周知を行うとともに、後輩の手本となるレポートの収集を行っていく。

実施方法を変えた図書館ツアーについて、所要時間を含めて効果や問題点を検証する。図書館ツアーにおける学生スタッフのイベント内容の充実や、内容の見直しを行っていく。

【メディア教育担当】

1. 会議記録

メディア教育担当会議

開催日	主な審議議題
平成 29 年 4 月 27 日	① メディア教育担当におけるこれまでの取り組みと今年度の活動目標に関する協議 ・メディア教育担当の活動内容・成果および課題の確認 ・メディア教育担当の今年度の活動目標に関する協議 ②LMS のあり方に関する協議 ・新 AIMS-Gifu の導入スケジュールについて ・昨年度のメディア教育担当会議にて示された AIMS-Gifu 導入に係

	るタスクについて ・新 AIMS-Gifu へのコース・コミュニティ移行に係る先行移行希望調査 ・新 AIMS-Gifu への移行テストコンテンツの利用者へのリクエストについて ③ ICT を活用した学習支援に関する協議
平成 29 年 5 月 24 日	① LMS のあり方に関する協議 ・新 AIMS-Gifu の導入に係るスケジュールについて ・新 AIMS-Gifu のコース・コミュニティ移行に係る先行移行希望調査 ・新 AIMS-Gifu への移行テストコンテンツの利用者へのリクエストについて ② ICT を活用した学習支援に関する協議
平成 29 年 6 月 28 日	① LMS のあり方に関する協議 ・現行 AIMS-Gifu (Blackboard) から新 AIMS-Gifu (Canvas) へのコース移行について ・新 AIMS-Gifu 利用講習会について ② ICT を活用した学習支援に関する協議
平成 29 年 7 月 26 日	① LMS のあり方に関する協議 ・新 AIMS の導入スケジュール ・新 AIMS-Gifu (Canvas) 利用講習会について ・新 AIMS-Gifu ミニ相談会について ・AIMS-Gifu 更新に関する工学部教務委員会からの要望とその対応について ・AIMS-Gifu の活用効果に関する分析レポート ～ 授業時間外学習に関するアンケート調査 ～ 報告ならびに Web ページへの掲載について ・教育推進・学生支援機構年報(第 3 号)への論文投稿について ② ICT を活用した学習支援に関する協議
平成 29 年 9 月 27 日	① LMS のあり方に関する協議 ・新 AIMS の導入スケジュールの進捗について ・新 AIMS-Gifu (Canvas) 利用講習会について ・新 AIMS-Gifu ミニ相談会について ・学生に対する AIMS-Gifu 更新の周知について ・新 AIMS-Gifu のマニュアルの Web 掲載アナウンスについて ・AIMS-Gifu 運用・管理体制について ・教育学部 FD(9 月 20 日)における新 AIMS-Gifu 利用講習会について

	て ② 平成 29 年度計画に対する 9 月末時点での進捗状況の報告について ③ ICT を活用した学習支援に関する協議
平成 29 年 10 月 25 日	① LMS のあり方に関する協議 ・新 AIMS-Gifu および学務情報システムの受講者連携について ・AIMS 利用支援体制の変更について ・学生向け AIMS-Gifu 利用講習会について ・新 AIMS-Gifu ミニ相談会について ② ICT を活用した学習支援に関する協議
平成 29 年 11 月 22 日	① LMS のあり方に関する協議 ・各学部の学務係系担当者の AIMS への管理者登録について ・学生向け AIMS-Gifu 利用講習会について ② ICT を活用した学習支援に関する協議
平成 29 年 12 月 25 日	① LMS のあり方に関する協議 ・AIMS-Gifu の課題提出期限にかかる問題の発生と修正について ・「特別講義」にかかる AIMS 利用について ・AIMS-Gifu コミュニティの容量制限について ② ICT を活用した学習支援に関する協議
平成 30 年 1 月 24 日	(メールによる持回り会議) 報告事項のみ
平成 30 年 2 月 20 日	① LMS のあり方に関する協議 ・コミュニティの継続申請について ・学務情報システムとの履修取消しや抽選漏れの受講者情報の連携について ② ICT を活用した学習支援に関する協議 ③ 次年度への申し送り事項について ④ 平成 29 年度年度計画に対する報告について
平成 30 年 3 月 23 日	① LMS のあり方に関する協議 ・コミュニティの継続申請について ② 平成 29 年度の活動総括および平成 30 年度検討事項の申し送りについて

2. 活動内容及び成果

1) 岐阜大学における LMS (Learning Management System) および学務情報システムのあるべき姿とその実現方策の検討

新 AIMS-Gifu の導入に伴い、下記の業務を行った。

- ・ 新 AIMS 導入にともなう導入スケジュールの設定・調整 (AIMS 移行講習会等スケジュール, 新 AIMS-Gifu 導入プラン)
 - ・ 新 AIMS 導入にかかるコース・コミュニティの移行に係る希望講査
 - ・ 新 AIMS 導入を円滑にするための AIMS ヘルプデスクおよび情報連携統括本部等他部局連携体制の整備 (AIMS-Gifu 運用体制)
 - ・ 旧 AIMS から新 AIMS へのコース等コンテンツの移行手順書「現行 AIMS (Blackboard) から新 AIMS (Canvas) へのコース移行について」の作成・配布 (現行 AIMS-Gifu (Blackboard) から新 AIMS-Gifu (Canvas) へのコース・コミュニティ移行に関して)
 - ・ 新 AIMS-Gifu (Canvas) 利用講習会マニュアルの作成
 - ・ 新 AIMS 利用講習会の企画および実施 (6 回, 7 月～9 月) (新 AIMS-Gifu (Canvas) 利用講習会について)
 - ・ 新 AIMS 利用講習会 (導入業者) の企画および実施 (4 回, 8 月)
 - ・ 新 AIMS ミニ相談会の企画および実施 (7 月 24 日～9 月 28 日) (新 AIMS-Gifu ミニ相談会)
 - ・ 新 AIMS 基本利用説明書の作成・配布
 - ・ AIMS-Gifu 学生向けマニュアルの作成
 - ・ AIMS ヘルプデスクの月例活動報告と集計
 - ・ AIMS ヘルプデスクコミュニティの運用
 - ・ AIMS および学務情報システムの機能役割の検討および整理
 - ・ AIMS と学務情報システムのコース受講者連携に係る調整
 - ・ その他, 各種 AIMS 科用問い合わせ等への対応
- 2) アクティブ・ラーニングをサポートする教育コミュニケーションツールの利用法の検討
- ・ アカデミック・コア学生スタッフによる自発的な ICT 教育利活用方法の検討 (H29 年度学生スタッフ報告)
 - ・ アカデミック・コアにおけるタブレット端末等 ICT 機器利活用にかかる講習会の実施 (アカデミック・コア学生スタッフ) (H29 年度学生スタッフ報告)
- 3) その他
- ・ 学修支援部門メディア教育担当会議の実施 (本日時点で 11 回)
 - ・ G-group スペースおよびメーリングリスト等 ICT を活用した会議等業務の効率の向上
 - ・ 教育推進・学生支援機構年報 (第 3 号) への論文 (「課外学習における AIMS-Gifu 活用効果に関する分析」) の投稿

3. 課題及び次年度の取組方針

岐阜大学における LMS (Learning Management System) および学務情報システムのあるべき姿とその実現方策の検討

新 AIMS-Gifu の利活用の向上のため, 次の項目を検討・実強する。

- ・ 各種 AIMS-Gifu 科用講習会の企画および実施

- ・ AIMS-Gifu 科用者アンケートの実施および分析
- ・ 学内情報サービスとの連携強化
- ・ AIMS-Gifu システムの利用者からの要望に対する反映の検討

アクティブ・ラーニングをサポートする教育コミュニケーションツールの利用法の検討
 教養コミュニケーションツールの利用法について、次の項目を検討・実施する。

- ・ ICT 機器および情報通信ネットワーク環境の整備状況調査
- ・ ICT 機器のアクティブ・ラーニングをサポートする利用法の提案
- ・ ICT 機器の利用方法に関する研修

【広報チーム】

1 会議記録

広報チーム会議

開催日	主な審議議題
平成 29 年 5 月 24 日	① 広報チーム担当者紹介 ② 広報チームの担当内容・方針について ③ 学修支援部門ニューズレター（第 3 号）の発行に向けて
平成 29 年 7 月 26 日	① 学修支援部門ニューズレター（第 3 号）の構成について
平成 29 年 8 月 3 日	① 学修支援部門ニューズレター（第 3 号）原稿の最終確認について
平成 29 年 11 月 22 日	① 学修支援部門ニューズレター（第 4 号）の発行に向けて ② 学修支援部門ホームページについて
平成 30 年 3 月 2 日	① ニューズレターの構成について ② ホームページの充実化について

2 活動内容及び成果

広報チームでは、学修支援部門の活動や岐阜大学の学生のアクティブ・ラーニングを促す取組み、学習に有用な情報を学内外に発信することで、教育の活性化をはかることを活動目的とした。主に学修支援部門ニューズレターの発行と学修支援部門ホームページの充実化・改善に取り組んだ。

今年度も広報チームでは学修支援部門ニューズレターを年 2 回発行した。第 3 号（平成 29 年 9 月 15 日発行）では、アクティブ・ラーニングを促す工学部の取組みの紹介、アカデミック・コアの学生スタッフによるイベントの取材内容を掲載した。続いて、第 4 号（平成 30 年 3 月 15 日発行）では、アクティブ・ラーニングを促す医学部看護学科の取組みの紹介、アカデミック・コアの学生スタッフによるイベントの取材内容、アカデミック・コアの学習相談を利用した学生への取材内容を掲載した。

学修支援部門ホームページに関しては、現状に合わせて修正、改善を図った。また、学修支援部門ニューズレターの発刊や学修支援部門 SD・FD の開催案内、学生スタッフの応募、岐阜大学学生レポートコンテストの作品募集など本部門に関わる情報を随時掲載することで、学内外に広く情報を発信した。

3 課題及び次年度の取組方針

次年度も引き続き、学修支援部門ニューズレターの発行やホームページの充実化を通じて、学修支援部門の活動を広く発信していく。

【アカデミック・コア運営チーム】

1 会議記録

アカデミック・コア運営チーム会議

開催日	主な審議議題
平成 29 年 5 月 24 日	① アカデミック・コア運営チーム担当者について ② 平成 29 年度学修支援部門活動計画におけるアカデミック・コア運営チーム担当内容について ③ アカデミック・コアで勤務する学生スタッフの指導について ④ 平成 29 年 10 月期採用の学生スタッフの募集について ⑤ アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況
平成 29 年 7 月 26 日	① 平成 29 年 10 月期採用の学生スタッフの募集について ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況 ③ アカデミック・コア運営に関する申し合わせ案について ④ 「テスト期間中の平日の図書館の閉館時間の延長」に関する要望について
平成 29 年 11 月 22 日	① 平成 30 年 4 月期採用の学生スタッフ募集について ② アカデミック・コア利用者状況とイベント実施状況

	③ 学修支援部門 SD・FD について
	④ 学生スタッフの活動について

2 活動内容及び成果

アカデミック・コアで勤務する学生スタッフの募集を平成 29 年 10 月期と平成 30 年 4 月期の 2 回実施した。平成 29 年 10 月期には応募者 9 名に対して選考面接を行い、継続・新規を含め 9 名の学生をスタッフとして採用した。また、平成 30 年 4 月期には応募者 10 名に対して選考面接を行い、継続・新規を含め 10 名を採用した。毎月定例でスタッフ・ミーティングを開催し、アカデミック・コア職員、学生スタッフ間で業務の課題やイベントの企画内容について、意見交換や情報共有を行った。

4 月から 7 月にかけて、前学期の「初年次セミナー」における図書館ツアーに関わり、学生スタッフによるイベント「レポートの書き方」を実施した。

9 月の AIMS-Gifu のシステム変更に伴い、学生スタッフがメディア教育担当委員の指示の下で新システムの利用マニュアル作成を行った。

学生スタッフの研修と他大学のラーニング・スペースの取組みを学ぶために、平成 29 年 12 月に愛知大学名古屋キャンパスのラーニング・コモンズを視察し、ラーニング・スペースの運用体制、イベントの企画、実施状況、学習支援の取組みを見聞した。同大学の取組みから、イベントの周知やスペースの活用方法の見直しを図り本学のアカデミック・コアでの業務改善に繋げた。

平成 30 年 1 月 19 日（金）に、「協同による学習支援の課題を整理する チーム指導と能力開発」とのテーマで学修支援部門 FD・SD を開催し、学内外から 35 名の参加があった。学修支援部門 FD・SD では、同志社大学の学生支援センターの学生支援課長：井上真琴氏、同大学学習支援・教育開発センターの准教授：濱嶋幸司氏を講師に迎えた講演に続いて、本学アカデミック・コアの学生スタッフによる前述の他大学視察の報告、学生スタッフの取組みと今後の課題についての報告を行った。

前年度のアカデミック・コアの利用ガイドラインを基に使用に関する申合せを策定し、学内外からアカデミック・コアを学修支援以外の目的で使用する際に、使用を認めるべきか否か、事務的に判断できるように整備を行った。

学生スタッフにはアカデミック・コアでの学習支援サービスに加えて、アカデミック・コアで利用できる電子機器（プロジェクターを搭載した電子ホワイトボード、iPad、無線 LAN 環境など）の活用方法やマニュアル作成を行った。

この他、学生スタッフによる活動内容として、英語能力・プレゼンテーション能力を促進するための TED トーク動画の選定および大型テレビによる上映、英語学習やキャリア学習を促進するための「一問一答」の作成、グループ学習室の利用者集計、コア通信の発行、カウンターにおける学生相談、学習を支援するイベントの開催など、多種多様な業務を企画・実行した。

3 課題及び次年度の取組方針

アカデミック・コアで勤務する学生スタッフを採用した際には、アカデミック・コアとして何を強化したいのか学生スタッフの役割を明確に伝え、教育・研修を実施することが望まれる。合わせて、学生スタッフが活動に苦慮した際など、教職員により指導・助言を行う体制が必要である。

アカデミック・コアが学生の学びを深める場として今後もより良く利用されるように、学生スタッフのイベント企画や学習支援を中心に、今後も新入生、教職員への情報を発信し続けていく。

アカデミック・コアでの SD・FD や、学生スタッフの研修を次年度も計画・実施する予定である。

平成 29 年度学生生活支援部門活動報告

部門長 熊谷 佳代

1. 会議等の記録

部門の会議は表 1 に示すように 5 回開催した。

表 1 学生生活支援部門会議

開催日	主な議題
4 月 26 日	サポートルームの活動状況について 平成 29 年度課外活動支援事業について 部門会議開催予定について
7 月 19 日	課外活動支援事業について
10 月 16 日	平成 30 年度学生生活実態調査について キャンパス敷地内禁煙の徹底について
2 月 14 日	理事（教学担当）表彰について
3 月 8 日	平成 30 年度学生団体設立承認について 次期部門会への申し送り事項について

2. 活動内容及び成果

（1）課外活動支援

学生の課外活動に対して、課外活動支援事業実施要項に基づき、成員数や成績等の実績を勘案して経費を配分し、活動の支援を行った。

（2）学生表彰

今年度優秀な成績を修めた個人や団体に、教学担当理事表彰を行い、学生の課外活動の活性化を図った。

（3）障害学生支援

障害学生支援室はより幅広く多様なニーズのある学生への対応を可能にし、相談しやすい機関とすることを目指して「サポートルーム」の通称を用いて業務を実施し 2 年が過ぎた。今年度は、サポートルーム運営会議を 5 月に開催し、各部局担当者が出席し、以下 5 点について情報共有を行った。また、防災訓練を踏まえた障害者の避難及び障害者差別解消法

に対する理解を深めるため職員研修の実施に向けた研修教材の選定及び体制の構築を行った。

＊サポートルーム運営会議（5月開催）

1. 平成 28 年度活動報告 ①支援実施数の報告②学生支援状況③FD・SD 実施報告④広報・啓発活動に関して⑤研修・社会活動報告⑥平成 28 年度予算執行報告
2. 平成 29 年度入学者支援ニーズに関する情報共有
3. 平成 29 年度活動計画
4. 「障害のある学生の修学支援に関する検討会（平成 28 年度）第二次まとめ」について解説
5. 今後検討を要する課題 ①入学試験における合理的配慮の内容に関する検討②学部への長期履修制度導入に関して

＊防災訓練を踏まえた障害者の避難

①避難用具の選定の検討に引き続き、避難器具の購入及びメーカーによるデモの実施

＊職員研修の実施に向けた研修教材の選定

①「障害者に対する差別禁止と合理的配慮の理解 ～大学における対応～」を選定し、全職員がオンライン研修を受講できるよう関係部署と調整を行い、次年度に研修ができる体制の構築

（４）学生生活支援

学内の盗難が多発していることを受け、学内の各所（特に体育施設）に貴重品管理の徹底を周知させる掲示をし、特に、全学共通教育のスポーツ演習時間には見回りを強化した。

（５）学生生活実態調査実施検討会（ワーキンググループ）

次期大学機関別認証評価に向けた「学生生活実態調査」実施に関する検討を、ワーキンググループを発足して行った。

3. 課題及び次年度の取組方針

課外活動支援および学生理事表彰をはじめとした学生生活の支援は、更なる活性化を期待し、今年度の方針に倣って取り組む。理事表彰については、表彰の方法について検討を加える。

30 年度後期実施予定の「学生生活実態調査」については、具体的な調査時期と調査方法についての検討を継続し、実施に向けて取り組む。また、学内禁煙に関わる啓発と対策について、学生生活支援部門としての取り組みについて検討する。

障害学生支援については、修学支援に関する対応件数の増加が今後も予想されることから、サポートルームが各学部の学務担当者や関係教員と連携しながら支援の強化を図る。

平成 29 年度地域教育連携部門活動報告

部門長 竹内 章郎

1. 会議等の記録

地域教育連携部門は、地域教育機関との連携を推進すべく、大学間単位互換授業を含むネットワーク大学コンソーシアムの運営及び事業の実施に関すること、サテライトキャンパスの運営及び事業の実施に関する業務を実施した。

本報告においては、部門会議に関わる事項に加えて岐阜大学が事務局を担うネットワーク大学コンソーシアム岐阜の会議、事業を報告する。

(1) 部門会議等の記録

表 1 に地域教育連携部門会議の開催日と審議事項を示す。

表 1 地域教育連携部門会議

開催日	主な審議議題
5 月 17 日	(1) サテライトキャンパスの振興方策について (2) サテライトキャンパスの運営における課題について
10 月 11 日	(1) 平成 30 年度以降のサテライトキャンパスの運営について
12 月 6 日	(1) 平成 30 年度以降のサテライトキャンパスの運営について
1 月 19 日	(1) サテライトキャンパス使用料単価の改正について (2) 平成 30 年度以降のサテライトキャンパスの運営について

(2) ネットワーク大学コンソーシアム会議等の記録

表 2 にネットワーク大学コンソーシアム岐阜の主な会議の開催日と審議事項及びイベント事業について示す。

表 2 ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の主な会議

開催日	主な審議議題、イベント事業
4 月 20 日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成 29 年度第 1 回教員免許状更新講習部会 (1) 平成 28 年度岐阜県教員免許状更新講習選択講習分配金の決算について (2) 平成 29 年度必修領域講習等の講師について (3) 教員免許状更新講習システムの改修について

	(4) 平成29年度検討事項について
5月12日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第1回地域連携・産学連携部会 (1) 平成29年度事業計画について
5月19日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第1回幹事会（メール開催） (1) 平成医療短期大学のコンソーシアム加盟について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜に関する協定書の改正案について (3) 単位互換に関する包括協定書の改正案について (4) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜設置要綱の改正案について (5) 平成28年度事業報告・決算（案）について (6) 平成29年度負担金（案）について (7) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜個人情報の保護に関する規程（案）等について (8) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜将来ビジョン2019（案）について
5月19日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第1回運営協議会 (1) 平成医療短期大学のコンソーシアム加盟について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜に関する協定書の改正案について (3) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜設置要綱の改正について (4) 単位互換に関する包括協定書の改正について (5) 平成28年度事業報告・決算について (6) 平成29年度負担金について (7) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜における個人情報の管理について (8) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜将来ビジョン2019について
7月26日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第1回高大連携・情報発信部会 (1) 平成29年度高大連携・情報発信事業計画案について
10月25日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第2回幹事会（メール開催） (1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜による平成29年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ5）に係るプラットフォームの形成について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜中長期計画策定運用部会（仮称）の設置について
10月25日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第2回運営協議会 (1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜による平成29年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ5）に係るプラットフォームの形成について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜中長期計画策定運用部会（仮称）の設置について
11月1日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第1回中長期計画策定運用部会 (1) 私立大学等改革総合支援事業タイプ5の設問（共通・個別）への対応及び回答

	案の作成について (2) 今後の運用部会の運営について
11月24日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第1回教育連携推進部会 (1) 平成30年度単位互換科目の開講予定調査について (2) 平成30年度共同プログラム（学生対象）の企画について (3) 平成30年度共同プログラム（教職員対象）の企画について (4) 平成30年度共同プログラム（一般対象）の企画について (5) 平成30年度公開講座の企画について (6) 特別な支援が必要な学生に関する懇談会（仮称）の企画について
11月28日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度高大連携セミナー 会場：朝日大学 (1) 開会式 (2) 講演会「新学習指導要領に基づいた英語教育改革～高大連携を視野に～」(後援者：松本茂（立教大学経営学部教授）) (3) 分科会「英語授業と評価の改善」 (4) 閉会式
12月23日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度「学生による地域課題解決提案事業」成果報告会 会場：岐阜大学サテライトキャンパス (1) 開会あいさつ、審査員紹介、発表方法・審査基準説明 (2) 成果報告 (3) グループ懇談会 (4) 審査結果の発表、審査員の講評、閉会の挨拶
1月19日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第1回企画調整会議（メール開催） (1) 平成30年度ネットワーク大学コンソーシアム岐阜予算（素案）について (2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜パンフレット2018の作成について
2月6日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第2回教育連携推進部会 (1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜単位互換事業ガイドラインについて (2) 平成30年度単位互換科目の開講について (3) 平成30年度共同プログラム（教職員対象）について (4) 平成30年度共同プログラム（一般対象）について (5) 平成30年度公開講座1について (6) 平成30年度公開講座2について (7) 特別な支援が必要な学生対応懇談会（仮称）について (8) 中長期計画の策定について
2月14日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第2回教員免許状更新講習部会

	(1) 教員免許状更新講習に関する協定書等について (2) 必修講習及び選択必修講習ガイドラインについて (3) 平成30年度岐阜県教員免許状更新講習必修講習及び選択必修講習の開催日程について (4) 平成30年度岐阜県教員免許状更新講習必修講習及び選択必修講習の担当講師について (5) 平成30年度岐阜県教員免許状更新講習の選択講習開催について (6) 平成30年度岐阜県教員免許状更新講習の開催等日程について (7) 中長期計画の策定について
2月26日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第2回企画調整会議 (1) 部会からの報告及び事業計画(案)について (2) パンフレット2018(案)について (3) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜負担金規程細則の改正について (4) 平成30年度予算及び負担金(案)について
3月9日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第3回幹事会 (1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜設置要綱の改正について (2) 平成30年度役員(案)について (3) 平成30年度事業計画(案)について (4) 平成30年度予算(案)及び参加校負担金(案)について (5) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜負担金規程細則の改正について
3月23日	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜平成29年度第3回運営協議会(メール開催) (1) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜設置要綱の改正について (2) 平成30年度役員等(案)について (3) 平成30年度事業計画(案)について (4) 平成30年度予算(案)について (5) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜負担金規程細則の改正について

2. 活動内容及び成果

(1) サテライトキャンパスの運営及び事業

a) 利用目的：授業

前学期 岐阜大学開講科目9科目 履修者数237名

後学期 岐阜大学開講科目7科目 履修者数124名

早朝クラスの実施

平成 28 年度から、朝の時間帯における岐阜駅から岐阜大学へ向かうバスの混雑緩和を目的として、新たに「早朝クラス」を開始した。これは、一部の授業を 8:00 からサテライトキャンパスで開講することにより、柳戸キャンパスで行われる 2 限目の授業に学生が余裕を持って向かえるようにしたものである。平成 29 年度は、下記の授業を早朝クラスとして開講した。

前学期	岐阜大学の教育研究と運営（月曜日）	履修者数 26 名
	美術論（美術史）（火曜日）	履修者数 120 名
	ひろがる学び、つながる学び（火曜日）	履修者数 9 名
	科学論（水曜日）	履修者数 54 名
後学期	教養の数学 コンピュータのための数学概論（月曜日）	履修者数 9 名
	財産と法（火曜日）	履修者数 6 名
	教育論 岐阜大学の歴史と高等教育論（水曜日）	履修者数 10 名

b) 利用目的：講演会、会議等

前学期 421 件 延べ利用者数 10,320 名

後学期 435 件 延べ利用者数 8,204 名

公開講座「アカデミッククラブ」の開始

一般市民への啓発や生涯学習活動の推進を目的として、新たに公開講座「アカデミッククラブ」を開始した。これは、岐阜大学名誉教授等を講師とした講座であり、平成 29 年度は 29 講座全 167 回を開催し、延べ 3,001 名の方が参加した。

(2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の事業

a) 教育連携推進事業

■単位互換授業及び社会人公開授業

①目的

- ・ 学生の学習機会の多様化（人材育成・教育機能の充実）
- ・ 地域への生涯学習機会の提供
- ・ 既存授業の社会人への開放

②履修者数等

	提供科目数（科目）	受講科目数（科目）	履修者数（人）
単位互換授業	130		132
社会人公開授業	36		85

■共同プログラム

①目的

- ・ 社会人・高校生への学習機会の提供
- ・ 学生と社会人・高校生が協働して学ぶことができる場の提供
- ・ 社会人・学生の人材育成等の学習機会の提供

②プログラム名称

- ・ 一般向け：発達障がいのある児童・生徒の支援
- ・ 教職員向け：人材育成プログラム

③受講者数

	講座回数 (回)	総受講者 数 (人)	社会人	高校生	学生
一般向け	6	348	348(43)	0	0
教職員向け	5	205	205(205)	0	0

(注) () は、コンソーシアム加盟機関に所属する者を内数で示す。

■公開講座

①目的

- ・ 社会人・高校生への学習機会の提供
- ・ 地域への生涯学習機会の提供

②プログラム名称

- ・ 岐阜を知ろう もっと識ろう
- ・ 古典への誘い～落語とその周辺～

③受講者数

	講座回数 (回)	総受講者 数 (人)	社会人	高校生	学生
岐阜を知ろう	11	399	399	0	0
古典への誘い	24		0	0	0

b) 高大連携・情報発信事業

①目的

- ・ 大学に対する高校生の理解の促進
- ・ 大学における高度な教育・研究に触れる機会や学部選択に関する情報の提供、高等教育機関と高校との連携

②実績

高大連携セミナーの実施

- ・ 開催月日：平成 29 年 11 月 28 日（火）

- ・会場：朝日大学
- ・当日参加者：115名（中学校高等学校関係者28名、学生20名、大学関係者67名）
- ・内容：1. 講演会「新学習指導要領に基づいた英語教育改革～高大連携を視野に～」
（講師：立教大学経営学部 松本茂教授）
- 2. 分科会「英語授業と評価の改善」

c) 地域連携・産学連携事業

①目的

- ・ 地域貢献
- ・ 教育・研究の充実

②実績

学生による地域課題解決提案事業

- ・ 10機関から16件の応募があり16件を採択
- ・ 成果報告会の開催

開催月日：平成28年12月24日（土）

会場：岐阜大学サテライトキャンパス

当日参加者：120名

内容：1. 成果発表プレゼンテーション
2. グループ懇談会

表彰：第一会場 第1位 岐阜聖徳学園大学（ACT）
第2位 岐阜工業高等専門学校（都市工学研究室）
第二会場 第1位 中日本自動車短期大学（工学教育研究室）
第2位 岐阜市立女子短期大学（食物栄養学科）

d) 教員免許状更新講習事業

①目的

- ・ 小・中・高等学校等教育免許状更新講習の調整・実施

②実施期間

夏季：平成29年6月17日から8月25日

秋季：平成29年11月4日から11月25日

③講習開催実績

1. 必修領域（1講習6時間）

講習開設数：19講習

講習実施機関：岐阜大学

受講者数：1,827名

2. 選択必修講習（1講習6時間）

講習開設数：24 講習

講習実施機関：岐阜大学

受講者数：1,810 名

3. 選択領域（一部を除き 1 講習 6 時間）

講習開設数：344 講習

講習実施機関：朝日大学、岐阜大学、岐阜経済大学、岐阜県立看護大学、岐阜聖徳学園大学、岐阜女子大学、東海学院大学、大垣女子短期大学、岐阜聖徳学園大学短期大学部、東海学院大学短期大学部、中部学院大学短期大学部、中京学院大学短期大学部、高山自動車短期大学、岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会
(以上 7 大学、6 短期大学（部）、2 教育委員会)

受講者数：5,480 名

3. 課題及び次年度の取組方針

(1) サテライトキャンパスについて

サテライトキャンパスでは、利用者獲得に向けた取組が功を奏し、特に学外者の利用件数が増加するとともに、利用料収入も着実に向上してきている。しかし、本学の教育活動においては十分な利用がなされておらず、サテライトキャンパスの設置目的である「本学の教育研究，社会貢献を推進するための新たな活動拠点」であることは達成されているとは言いがたい状況であると考える。これを踏まえ、次年度においては、サテライトキャンパスの設置目的を踏まえた活性化方策を検討していきたい。

(2) ネットワーク大学コンソーシアム岐阜について

ネットワーク大学コンソーシアム岐阜では、新たな将来ビジョン 2019 を策定するとともに、各部会において着実な事業実施に取り組んできた。一方、近年の大学を取り巻く環境の厳しさもあり、国公私立の枠組みを超えた連携の在り方が国策レベルでも検討されているところである。ネットワーク大学コンソーシアム岐阜においても、私立大学等総合改革支援事業（タイプ 5）における地域の高等教育の振興に関するプラットフォーム形成や中長期計画の策定に取り組んできた。次年度においても、各部会の事業の更なる発展とともに、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜や加盟機関を取り巻く新たな課題に対する解決に取り組んでいきたい。

平成 29 年度教職課程支援部門活動報告

部門長 別府 哲

1. 会議等の記録

会議の実施日と主な審議議題は以下の表 1 のとおりである。

表 1 教職課程支援部門会議

開催日	主な審議議題
4 月 26 日	(1)平成 29 年度教育実習・養護実習について (2)平成 29 年度教育実習・養護実習事後指導について (3)平成 29 年度教職実践演習について
6 月 12 日	(1)平成 29 年度前学期の履修登録取消願の受理判定審査について (2)平成 29 年度教職実践演習の計画について (3)平成 29 年度教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会の実施について (4)平成 30 年度教育実習事前指導・教育実習ガイダンスの実施日について (5)教員免許状更新講習開設経費の配分に関する申し合わせの改正について
6 月 29 日	(1)国立大学法人岐阜大学教員免許状更新講習業務担当手当支給細則の一部改正について(メール会議)
7 月 24 日	(1)平成 29 年度後学期全学共通教職科目の開講について (2)平成 30 年度教育実習・養護実習の実習予定校について (3)教職課程再課程認定への対応について
10 月 26 日	(1)教育実習・養護実習事前指導について (2)平成 30 年度全学共通「教職課程」の授業予定について (3)平成 29 年度後学期非常勤講師の採用について (4)平成 29 年度岐阜県教員免許状更新講習に係る学内分配金について
1 月 24 日	(1)平成 30 年度教職課程要覧について (2)教員養成の状況の公開について (3)平成 30 年度岐阜県教員免許状更新講習の開催について
3 月 16 日	(1)平成 29 年度後学期の受講及び成績評定の状況について (2)平成 30 年度教職実践演習について

2. 活動内容及び成果

(1) 「教職課程」受講者数と教員採用試験結果

表2、表3にみられるように、教育学部以外で1年次生から4年次生あわせて、前期で137名、後期で127名の学生が、教員免許取得のための「教職課程」を受講した。そして、表4に示したように、4年次生および大学院生のうち12名が教員採用試験を受験し合格者は2名であった（なお、不合格者のうち、2018年3月12日現在において、3名は非常勤講師を志望し、内1名は私立高等学校での非常勤講師が確定している）。

表2 平成29年度前学期 全学共通「教職課程」受講者数

年次	合計	内 訳			
		工学部 応物コース	応用生物科学部		医学部
			生産環境	応用生命	看護学科
1年次	41	6	3	12	20
2年次	35	6	12	10	7
3年次	38	8	14	7	9
4年次	22	9	5	4	4
院 生	1		1		
合 計	137	29	35	33	40

表3 平成29年度後学期 全学共通「教職課程」受講者数

年次	合計	内 訳			
		工学部 応物コース	応用生物科学部		医学部
			生産環境	応用生命	看護学科
1年次	36	4	4	12	16
2年次	31	6	12	8	5
3年次	37	8	13	7	9
4年次	22	9	5	4	4
院 生	1		1		
合 計	127	27	35	31	34

表4 平成29年度・教員採用試験結果

学部	区分(教科)	一次選考試験		二次選考試験	
		受験者	合格者	受験者	合格者
工学部	高等学校教諭(数学)	3	0	0	0
応用生物科学部	高等学校教諭(理科)	6	2	2	1
	高等学校教諭(農業)	0	0	0	0
医学部看護学科	養護教諭	3	2	2	1

（２）教職課程の充実について

教職支援部門と各学部での授業の連携をより充実させ、取り組みの共同を図るため、教職支援部門特任教授と各学部で授業をご担当いただいている先生方との対面会議（「教職科目全体を俯瞰した指導の在り方に係る協議会」）を年２回開催した。それにより、学生の状況に関する情報交換とともに、カリキュラムの継続性などを含め、一貫性をもった教職課程の構築と指導の充実を図る一助とすることができた。

３．課題及び次年度の取組方針

次年度も、工学部・応用生物学部・医学部看護学科での教員免許取得希望者に対し、内容を十分吟味した授業と、個々の状況に応じた丁寧な指導を徹底していきたい。加えて、教職課程の再課程認定に対応した取り組みも行う。その際教職課程支援部門と各学部の連携をより充実することは引き続き大きな課題である。またその取り組みにおいて、教員を目指すための、岐阜大学教育学研究科教職大学院へ進学しその後教員になる進路について、関係各機関と協議し学生に広報することも重要と考える。また、岐阜県や近隣の高校に対し、岐阜大学の教育学部以外で上記のような教員免許取得が可能であることを広報していくこともより一層求められる。

平成 29 年度キャリア支援部門活動報告

部門長 土田 亮
副部門長 坂口 菜朋子

1. 会議等の記録

表 1 キャリア支援部門会議

開催日	主な審議議題
4 月 21 日	・平成 28 年度計画実施状況及び平成 29 年度計画について ・部門の事業計画について
5 月 26 日	・学生ボラネットの活動報告について ・基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の募集について
6 月 16 日	・中部経済連合会「企業・人材プール」の出前授業について ・基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の申請について
7 月 14 日	・基盤的能力を育成する学生支援プロジェクト事業の採択通知書の交付及び追加募集結果について ・中部経済連合会「企業・人材プール」の出前授業について
9 月 8 日	・学生ボラネットの窓口の周知について ・ぎふ学生ボランティア交流会の開催について
10 月 12 日	・キャリア支援部門 F D の開催について ・「先輩社会人」との交流会の開催について
11 月 9 日	・中部経済連合会からの「企業・人材プール」リストの提供及び活用について
12 月 14 日	・キャリア支援部門 F D の実施結果について ・卒業後の「先輩社会人」としての協力について
1 月 11 日	・岐阜大学同窓会連合会会長表彰の被表彰者の講演会開催について
2 月 8 日	・岐阜県内の優良企業研究セミナー，岐阜大学学生企業展等について ・次年度の事業計画について
3 月 15 日	・次年度の事業計画について ・キャリア支援部門ニュースについて

表2 イノベーション創出若手人材養成部会会議

開催日	主な審議議題
4月21日	・プログラムの登録者について ・第7回成果報告会について
5月26日	・イノベーション創出若手人材養成プログラム聴講生について ・アイデア・トレーニング・キャンプの実施について
6月16日	・学外研修プログラムについて
7月14日	・学外研修プログラムについて
9月8日	・イノベーションスキル・プログラムの成績について ・来年度以降のイノベーションスキル・プログラムの募集定員充足後の対応について
10月12日	・「未来博士3分間コンペティション」の発表者について ・イノベ部会FDの開催について
11月9日	・イノベNEWS LETTER 及びイノベプログラム概要の発行について ・イノベ部会FDについて
12月14日	・次年度のプログラムについて ・プログラム募集要項について
1月11日	・イノベーション創出若手人材養成プログラム研修生・聴講生の募集説明会の開催について ・非常勤講師について
2月8日	・学外研修プログラム（インターンシップ）の成績について ・プログラム修了証，修了証（講義）の授与について
3月15日	・プログラム研修生の応募者数・合格者数について ・第8回成果報告会について

2. 活動内容及び成果

<キャリア支援>

- ・学生の基盤的能力向上を図るための自主的活動支援

基盤的能力の育成を目的とする課題を募集し、2つの団体（岐阜の日本酒広め隊，オープンキャンパス活性化ワーキンググループ）に各10万円の活動支援を行った。

（申請及び成果報告時に学生のプレゼンを行った。）

- ・学生ボランティア活動支援

ぎふNPOセンターと委託契約を結びメンター1名が，水曜日及び木曜日の午後学生

ボラネットへの助言・指導等活動支援を行った。

- ・先輩社会人との交流会開催

「先輩社会人と語る―学生から社会人への飛躍―」と題して12月6日（水）に学生企業展セミナー終了後に3学部・3名の先輩社会人が参加し、大学時代の生活、就職活動、現在の仕事等の体験談について話し合い交流を図った。（参加者全員で50名）

- ・授業改善のためのアンケートの実施

キャリア形成科目受講生（84名）を対象としたアンケートを平成29年2月及び7月並びに平成30年2月に実施し、うち69名から回答があり、これらをまとめた分析結果を平成30年3月キャリア支援部門ニュースと大学のHPで公表した。

- ・キャリア形成に関するFDの開催

「就職活動をにらんだ学生生活と大学に求められる支援」と題して11月27日に開催した。（学生、教職員15名参加）

- ・研究会への出席

岐阜県インターンシップ推進協議会総会、岐阜県インターンシップ推進会議、東海地域インターンシップ推進協議会総会へ出席した。

- ・キャリア支援部門ニュースの発行

部門の活動紹介、卒業生からの寄稿、プロジェクト型インターンシップ等を掲載し平成29年10月と平成30年3月の2回発行した。

- ・キャリア支援部門会議とイノベーション創出若手人材養成部会会議を合同で毎月1回開催した。

<イノベーション創出若手人材養成>

- ・ 前学期にエンライトメント・レクチャー（8回）、ビジネス英語（15回）、アイデア・トレーニング・キャンプ（3日間）を実施した。これらのプログラムをどれでも1つから自由に受講できる「聴講生」にはのべ33名の博士後期課程学生が参加した。学外研修（インターンシップ）を含むすべてのプログラムを受講する「プログラム研修生」には博士後期課程学生4名が参加した。
- ・ 昨年度プログラム受講生として参加した博士後期課程学生1名（連合農学研究科2年）が平成29年9月1日～11月30日の期間で学外研修（インターンシップ）を実施した。
- ・ 平成29年11月17日にイノベーション創出若手人材養成部会FDとして「博士人材のためのキャリアデザインとその実現～知らないと〇〇〇には就職できない～」(講師：株式会社エマージングテクノロジーズ 代表取締役社長 深澤知憲氏)を開催した。参加者は25名であった。
- ・ 平成29年11月25日に東広島芸術文化ホールくららで開催された「未来博士3分間

コンペティション」に本学より博士後期課程学生 4 名（工学研究科 3 名，連合獣医学研究科 1 名）が出場した。9 大学（広島大学，県立広島大学，徳島大学，愛媛大学，鳥取大学，山口大学，岡山大学，島根大学，岐阜大学）から 39 名が出場する中，本学より 2 名がそれぞれ「大塚賞（連合獣医学研究科 1 年）」，「協和発酵バイオ賞（工学研究科 1 年）」を受賞した。

- ・ 平成 30 年 1 月にニュースレター第 3 号を発行した。
- ・ 平成 30 年 1 月に岐阜大学イノベーション創出若手人材養成プログラム概要を発行した。
- ・ 平成 30 年 1 月 15 日より 2018 年度第 9 期プログラム研修生及び聴講生の募集を開始した。募集要項・ニュースレターを全研究科の博士後期課程 1・2 年（連合獣医学研究科は 1~3 年）及び進学予定の博士前期課程 2 年の学生に配布した。
また日本語・英語による説明会を各 2 回，計 4 回開催した。
- ・ 2018 年度にはプログラム研修生 2 名，聴講生のべ 47 名が参加予定である。
- ・ 平成 29 年 3 月 16 日に岐阜大学イノベーション創出若手人材養成プログラム第 8 回成果報告会を開催した。参加者は 25 名であった。

<就職支援>

- ・ 求人情報の提供

学生に公開している本学への求人件数（学部受付分を除く）は 3 月末現在 1,448 件であった。

- ・ 就職活動に関する学生相談

就職活動に関する疑問や悩みの相談から、エントリーシート・履歴書の添削、面接指導など就職活動全般にわたるアドバイスを行っており、その件数は 3 月末現在で 1,621 件（窓口対応（随時）371 件、相談員対応件数（予約制）1,250 件）であった。

- ・ 各種事業の実施及び学生の参加状況

①就職（活動支援）ガイダンス

講師による講義や実習、OB や内定者からの体験報告等を就職活動の流れに沿ったテーマ構成で実施し、積極的に取り組む気構えを植えつけることを目的とするもので、6 月から 1 月までの間に計 20 回開催し、のべ 2,600 人以上の参加があった。

②公務員業務説明会

就職ガイダンスの一環として、1 月 20 日・27 日の 2 週にわたり 14 機関を招いて実施しており、合計で 165 名の参加があった。

③4 年生・M2 未内定者を対象としたガイダンス

上記ガイダンスは 3 年生・M1 が対象であるが、並行して未内定のまま就職活動が続けている 4 年生・M2 向けの事業として、6 月に自身の振り返りと新たなサポート

のためのリスタートガイダンスを実施したが、学生の参加は1名であった。

④グループ面接体験講座（模擬面接）

採用試験で重視される面接について、実践を通して自信を持った受け答えができるよう、緊張感の中での面接力の向上を図ることを目的として、外注により3月～5月に実施するもので、主な対象である平成30年3月卒業・修了予定者から、のべ161名の参加があった。

⑤グループディスカッション練習・エントリーシート対策講座ほか

最近、採用試験に取り入れる企業・自治体が増えているグループディスカッションやエントリーシートの書き方について、相談員2名が「就活セミナー」として講座を実施するもので、主な対象である平成30年3月卒業・修了予定者から、のべ338名の参加があった。

⑥「岐阜大学学生企業展」の支援

本学の学内合同企業説明会は10数年の歴史を持つ学生有志による「岐阜大学学生企業展」がその役目を担っており、これを唯一の全学合同企業説明会としており、更に学生のキャリア形成支援（自主活動）を就職支援室としても側面から支援している。

今年度は3月5日（月）、6日（火）に174社の企業を招いて開催し、2日間でのべ350名以上の参加があった。

⑦外国人留学生の就職支援

留学生は日本の就職活動のルールになじめず、失敗するケースも多いと聞く。

そこで前述の就職ガイダンスに加え、10月から3月まで4回にわたって留学生のための就職活動支援コースの講義及び15回の個別相談を実施し、のべ82名の参加があった。

3. 課題及び次年度の取組方針

課題：

- ・ キャリア支援部門主催FD,交流会の学生への周知・参加者の確保
- ・ イノベーション創出若手人材養成プログラムへの参加学生の確保と定着化, 学生・教職員への取り組みの周知

次年度取り組み方針

1. キャリア形成支援事業

- (1) 学生の基盤的能力向上を育成する学生支援プロジェクト事業

課題募集・選考 採択予定 @10万円×3団体

- (2) 学生ボランティア活動支援

ボランティア活動の相談・指導を行う。

(3) 先輩社会人との交流会開催

参加学生が増えるよう学生企業展セミナー終了後の時間等を利用しての開催や先輩社会人の出席者数を増やすよう検討する。

2. キャリア形成に関する研究・広報活動

(1) FDの開催

(2) 初めてとなる岐阜大学同窓会連合会会長表彰の被表彰者の講演会を4月7日工学部の新入生の父兄を対象に実施する。

(3) 研究会への出席

「岐阜県インターンシップ推進協議会総会」

「学生支援機構各種研修会」等

(4) キャリア形成に関する図書・資料の整備

(5) キャリア支援部門ニュースの発行（年2回 10月号・3月号）

部門の活動紹介、岐阜大学同窓会連合会の協力による先輩社会人からの寄稿等

3. イノベーション創出若手人材養成プログラムの実施

(1) プログラムの実施，企業向け発表会，プログラム研修生・聴講生の募集及び説明会開催，選考，インターンシップ受入企業への訪問，成果報告会，修了証授与式

4. イノベーション創出若手人材養成プログラムに関する研究・広報活動

(1) FDの開催

(2) NEWS LETTERの発行（年1回）

(3) プログラム概要の発行（年1回）

(4) コンソーシアム事業への参加 「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」（代表：広島大学）